

## 令和5年度の取組

### 令和4年度に実施した氾濫解析から得られた課題

流域毎の流域治水対策効果（浸水範囲の軽減）の大きさが明らかになった。

流域治水対策の取組に関して、各取組主体が具体的な行動に進めていない。

### 対応の方向性

流域治水対策の効果が大きい流域  
➢ 解析で見込んだ、河川整備や田んぼダム等の推進

流域治水対策の効果が小さい流域  
➢ 解析で見込んだ対策に加え、更なる対策の検討

頻発・激甚化する水災害の状況や流域治水に取り組む必要性について県及び市町が理解を深め、民間への普及を図る。

### 今年度の進め方

#### ・ 減災対策協議会等を通じ、県と市町で意見交換

R4に実施した流出解析結果の共有  
各市町が抱える課題等の抽出

#### ・ 市町をはじめ、小中学校等を通じて流域治水リーフレットの配布による普及啓発